

平塚市美術館改修の実施について

1 背景

平塚市美術館は「湘南の美術・光」をメインテーマとし、市民が芸術作品に日常的に接し、感受性を高めて情操を養い、心豊かにして「生涯学習の拠点となる恒久的な機関」として平成3年3月に開館した。開館後、多くの市民に親しまれ、令和6年3月末までに280万人を超える方々に展覧会を御観覧いただいている。

築33年を経過し、近年施設や設備の老朽化により、展示室やエントランス、事務室等で雨漏りが発生しているほか、空調設備等の老朽化など、市民の大切な財産である美術作品を保管・展示する建築物として大きな不具合を生じている。

所在地	平塚市西八幡1-3-3
敷地面積	12,677.57 m ²
建物延面積	7,181.39 m ²
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造及び鉄骨造

2 劣化度診断及び平塚市公共施設等個別施設計画

(1) 劣化度診断

平成29年度に建設時の設計者である(株)日建設計に委託し、劣化度診断を実施。調査結果は次のとおり。(抜粋)

- ・ 建築・設備とも経年劣化が進行している。
- ・ 外構ではアプローチや池回りの床材のクラック等への早急な対応が必要。
- ・ 館内各所での早急な漏水対応が必要。
- ・ 受変電設備や動力制御盤、電灯分電盤等の設備更新について、今後計画的に実施することが望ましい。
- ・ 機械設備では、空冷チラーと中央監視盤を除くほぼすべての機器類、配管類が耐用年数を超過しており、大規模修繕すべき。特にパッケージ空調機と冷温水配管の劣化への早急な対応が必要。

(2) 平塚市公共施設等個別施設計画

平塚市美術館の建物は耐震基準を満たしていることから、施設の長寿命化を図るため、上記2(1)の劣化度診断における指摘事項の解消を目指し、「平塚市公共施設等個別施設計画(令和3年策定)」において、「建物外部・外構」と「建物内部・設備機器」の2期に分けて設計・工事の実施を計画

3 改修工事に向けた基本計画の策定と基本設計・実施設計の実施

令和6年6月、(株) 日建設計へ改修工事に向けた基本計画策定業務を委託。

上記個別施設計画のとおり、「建物外部・外構」と「建物内部・設備機器」の工事を2期に分けた場合、どちらの工事中も休館を余儀なくされるため、合わせて設計・工事を進めた方がよいとの(株) 日建設計からの提案を受け、2期に分けずに合わせた工事として基本計画を策定した。

基本計画策定後、令和7年1月16日、基本設計・実施設計に係る委託業務について契約を締結、現在設計作業を進めている。

<工事実施箇所>

工 事	工事箇所等
建 築	展示室1屋上、ドーム屋根等屋上防水更新、外壁全面鉄部アルミ部塗装替、エントランスホール・テーマホール特定天井改修等、外構工事、昇降機更新等
電気設備	高圧引込設備、受変電設備、非常用発電機設備、動力設備、電灯コンセント設備、電話設備、自火報設備、非常放送設備
機械設備	熱源設備、配管設備、空調機設備、空調ダクト設備、中央監視設備、衛生設備

4 スケジュール（設計業務を実施していないため、以下は概略）

令和8年3月 基本設計・実施設計業務完了予定

令和8年10月 改修工事発注公告

令和8年度中 休館開始

令和9年度中 工事着工

以 上